

ぬまおしぜん まも かい
沼尾自然を守る会（鹿嶋市）

地域全体で守る農村環境

1 活動組織の概要

取組開始年度	平成 25 年度
組織構成	1 集落，農業者 17 名，非農業者 9 名，女性会，シニアクラブほか
支払区分	農地維持支払，資源向上支払（共同）
対象農用地	25.2ha（全水田）
対象施設	開水路 5.0km，ハ イ°ラ イ° 6.3km，農道 3.8km
交付金額（H29）	1,260 千円



水路の泥上げ



路肩の草刈り

2 主な活動内容

準備点検	計画・啓発	実践活動
<ul style="list-style-type: none"> 施設の点検，機能診断（5月） 遊休農地発生状況調査（5月） 	<ul style="list-style-type: none"> 年度活動計画の策定（5月） 活動状況の広報誌の配布（3月） 	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地発生防止の保全活動（7月，10月） 水路，路肩，法面の草刈り（7月，10月） 農道への砂利補充（7月） 水路の泥上げ（11月） 用水施設の機能診断，保守（5月） 景観形成のための植栽（6月，10月） 遊休農地へのサツマイモの作付け（6月）

3 地域の状況と取り組みへのきっかけ

- ・本地域は，鹿嶋市の南西部に位置する北浦湖畔に面した平坦な田園地帯です。
- ・本交付金に取り組む以前から，農業者による農地の保全や農業用施設の維持管理を行っていましたが，高齢化等により維持管理体制が脆弱化しつつあり，耕作放棄地も徐々に増加していました。
- ・これらの問題を解決するために，平成 25 年度に組織を設立し，活動を開始しました。

4 特徴的な取組

- ・地元のシニアクラブ（沼尾寿会）と連携し，遊休農地を活用してのコスモスや菜の花の植栽活動，サツマイモの栽培，さらに食を通しての交流会で地域の連帯感と活動に対する理解を深めています。
- ・組織の活動を地域住民に理解してもらうために活動状況の広報紙を配布し，地区内への周知を図っています。



農道への砂利補充



シニアクラブとの交流会



菜の花の植栽活動



遊休農地でのサツマイモの栽培

5 取組の成果・効果

- ・今後の農地の保全について，意見交換を行い，地域全体で保全管理する体制づくりを進めています。
- ・地域住民から「道路の見通しや景観がよくなった」との声もあり，地域の結びつきが強まりました。
- ・農地の集積の推進，生産法人等との交流を促すことで，活動を活発化させていきます。